施策番号	111	施策	名	地域医療の充実	令和 5 年度主管課名	召 健康推進課		
総合計画	政策名		1	こころあたたかい福祉の里づくり	令和 5 年度課長名	石原 靖之		
体系	関係課名		総	合福祉課 国保病院	シート作成者	石原 靖之		

体等の対象と音図の指揮

1. 施策の対象と意図の指標											
(1)	施策の対象(誰、何が対象か)		③対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
7	町民		ア人口	人	見込値	*****************		11,627	11,455	11,280	
ĺ			•			実績値	12,497	12,358	12,116	************	***********
1			1			見込値	***************************************	*****************			
						実績値				****************	***********
÷	,		ゥ	.		見込値	****************	*****************			
1			_			実績値				*****************	**********
2	施策の意図(対象をどうしたいのか)		4	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	シ悪た叶に 注切 れ 医療 杉内 シーマ			m_+ o = + # = + 1 = 1 = 1 = 1		目標値	79	79.5	80	80.5	81
ア	ア 必要な時に適切な医療が安心して 受けられる			ア 町内の医療機関を利用している町民の割合	%	実績値	81.6	82	81		*******
						達成率	103.3%	103.1%	101.3%	100.6%	100.0%
	早く手当、治療をしてもらう			地域の医療環境が整っていると 感じている町民の割合		目標値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0
1			1		%	実績値	69.3	64.2	68.1		***********
				窓とで、砂町氏の割日		達成率	105.0%	96.5%	101.6%	100.9%	100.1%
						目標値					
ゥ			ゥ	7		実績値				***********	***********
						達成率					
						目標値					
I			ェ	г		実績値					**********
						達成率					
⑤成果指標の 野定の考え方 高足度を指標とした。 ⑤成果指標の 把握方法と 算定式等											

2 施策の役割分担

//D/A */ (A)	1777 III	
	①住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	②行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
住民と行政との	・拟念・心忌于当の対処法、AEDの使用法について理解を深める レレキに保管提所の確認に努める	・鏡野町国民健康保険の充実と経営改革を実施する。あわせて、へき地診療所の維持に努める。 ・国・県に対して、救急搬送体制、医師の確保、へき地医療体制の充実について、支援を求めていく。

3. 評価結果

	1. 施策の成果水準とその背景・要因										
	①施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)										
				目標値を上回る							
	□ 両内医療機関を受診する割合は目標を達成している。これは、新型コロナウイルスワクチン接種で町 □ 利用する人が増え、認知度が上がったものと思われる。	V	目標値どおり								
			目標値を下回る								
	②成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)										
				向上した							
	令和5年度については、医療機関数に変化がなく、新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあること 態に戻った。	✓	ほとんど変わらない								
			低下した								
	③他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要	要因は?)									
	2020年に実施された厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」によると、人口10万人当たりの医師		高い水準								
	で256.6人、岡山県で320.1人であり、鏡野町は157.5人とかなり低いが、2次医療圏では、津山市に次いで2位とな			ほぼ同水準							
	ている。鏡野町の特徴としては、内科系の診療所と病院が全国平均を上回っている。		V	低い水準							
5 年度	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	5の意見・要望など									
Ø	今後は医師の高齢化による医療機関数の減少や、医療スタッフの確保が困難となっていく。へき地診療所への医師派遣も年々難しく、前度から診療時間が減少となった診療所があった。地域の住民からは、診療日数の維持を強く要望されている。 果										
評価結果											
	3. 施策の振り返りと総括 (5年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題	夏点と原因は?)									
	①施策の成果向上につながった主な事務事業 国民健康保険病院建設事業、国民健康	東保険病院建設第	策定	事業、救急医療対							
	②施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業 国民健康保険病院建設計画策定事業										
	③施策全体の振り返りと総括 へき地医療を担う診療所には計画的な医療機器の更新を行い、適切な診療を受けられるよう整備している。また、医療スタッフについては、歯科を除いて、国保病院の所属とし、常に安定的な人員を確保できる体制としている。医師確保については、今後も継続して、県や関係医療機関等への派遣要望活動を進めていく。										
	床区塚城因寺、ツ/爪垣安主泊期で進めしい。										

4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)

①今後施策の成果向上につなげる主な事務事業 ②施策全体の今後の課題と改革改善の方向 奥津直診、奥津歯科、上齋原直診、上齋原歯科、富直診、富歯科

徳野町においては患者数はすでにピークアウトを迎えており、今後患者数は減少傾向にあると予想される。町内にある2つの病院の棲み分けが必要である。一方で、開業医の高齢化が進んでおり、医院の廃業や業務の縮小が進んでいく。すでに、休日当番医がない休日も発生している。苫田郡医師会との連絡会議等を開催して情報を共有し、町の医療提供体制の安定化を図ることはもちろんのことであるが、医療 と介護の連携を強化していく必要がある。